

2016年度 事業報告書

2016年4月1日～2017年3月31日

法人の名称 特定非営利活動法人 アクションおっぱま

1 事業活動方針

当年度は、市民、大学、企業、行政ならびに追浜観光協会、(協)追浜商盛会等各地域団体との連携により地域まちづくりの課題解決と人材育成に重点を置き取り組んできた。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 誰でもが地域に住み続けるための条件整備に関する事業

ア マンション入居者のコミュニティ醸成支援と地域連携支援事業

- ・内 容 継続してルネ追浜のコミュニティ醸成の支援をしてきた。
自治会立ち上げを目指して平成28年4月8日(土)には健康講座(地域包括支援センターの協力による。)4月16日(土)には香りの講座(菊地真紀子さん講師による。)を実施した。
さらに今年度も自治会立ち上げに向けて企画書を提示してきたが、ルネ追浜フリスムクラブ・理事会の考えが明確に示されず具体的な動きにはならなかった。また長年支援してきた親子サロンは自主サークル活動になったので後方支援を行った。
- ・日 時 2016年4月～2017年3月
- ・場 所 ルネ追浜
- ・従事者人員 当法人の役員、会員 延べ10人
- ・受益対象者 ルネ追浜居住者300人
- ・支 出 額 45,283円

イ 空き家・空き店舗プロジェクト

- ・内 容 空き家の増加は追浜地域でも大きな問題となっている。関東学院大と追浜の空き家オーナー、地元自治会等をつないで、空き家活用とコミュニティ再生を図る空き家プロジェクトは3年目を迎えた。2016年度は、追浜南町の空き家を改装し、コミュニティスペースとして活用する試みが進み、2月には共通スペースにあるこたつの「こたつ掛け」を、地域の布を集めて縫うというイベントが開催された。3月には、空き家活用に関心を持つ人を対象に、追浜まち歩きがNPO、関東学院大、(株)エンジョイワークスとで行われた。11月30日は、空き家プロジェクトを視察目的とする鎌倉市自治会町内会総連合会の視察(36名)があった。
地域住民からの情報提供による、地域資源としての空き家・空き店舗の活用についても、NPO法人の独自の活動として継続している。
- ・日 時 2016年3月～2017年4月
- ・場 所 追浜地域内
- ・従事者人員 当法人の役員、会員、関東学院大学 教員、学生等 約50名
- ・受益対象者 追浜地域空き家・空き店舗所有者、地域住民、関東学院大学学生
- ・支 出 額 0円

② 地域資源の保存・活用に関する事業

ア 第三海堡遺構の見学・ガイドツアー事業

- ・内 容 第三海堡遺構の見学については、個人、団体の予約を受け付けるとともに、当面毎月第一日曜日を予約無しでの一般見学日とし、ガイドツアーを実施する。また地域イベントでの公開も行い、いずれの場合も「おっぱまはっけん倶楽部」の全面的な協力の下に実施した。
来場者 1) 一般公開日 387人(昨年度 477人)
2) 団体見学 139人(6団体)(昨年度 151人:6団体)
3) イベント時対応 592人(昨年度 2,600人:含海道ウォーク 2,000人) 合計 1,118人(昨年度 3,228人)
過去数年と同じ水準だが、更なる来場者増に努力したい。
- ・日 時 2016年4月～2017年3月
- ・場 所 夏島都市緑地
- ・従事者人員 当法人役員、会員等 延約150人
*おっぱまはっけん倶楽部会員の協力を求める。
- ・受益対象者 追浜在住、近隣住民その他見学を希望する一般市民
- ・支出額 0円

イ 追浜の自然や歴史遺産をいかすフィールドミュージアム構想検討事業

- ・内 容 追浜地域のフィールドミュージアムは、貝山地下壕の一般公開や第三海堡公開等を含め構想の継続検討をしている。既に貝山緑地は、フィールドミュージアム構想のため散策や勉強会は行っており、自然・戦跡等を観光資源等に活用するため、行政の方向性を見極めながら構築する方向としている。2016年度は、「小学生のこどもミニシンポジウムやエリア散策」、「若者～高齢者による歴史遺産の対話会」を予定したが、貝山地下壕等の活用方向の十分な検討が必要なことから、開催には至らなかった。
鷹取山の景観保存等のための支援は、担当理事が居なくなり継続する事が出来ず進展がなかった。応急的に清掃活動等の現状を把握することを探る事が必要であったが遅延した。
- ・日 時 2016年4月～2017年3月
- ・場 所 いずれもアィクル会議室(予定)
- ・従事者人員 当法人役員、会員等 延べ20名
- ・受益対象者 (1) 夏島、浦郷、鷹取小の高学年生 20名
(2) 地域住民、関東学院大学生等 20名
- ・支出額 0円

③ 地域の活性化に関するイベント事業

ア おっぱまワイン寄席

- ・内 容 今期のワイン寄席は会場の都合で第12回を2016年4月22日、第13回を2017年3月10日と2回開催した。12回までは追浜地域内での開催を継続できたが、13回は毎年利用していた会場の設備に不備があり第10回記念開催時と同様関東学院大学での開催となった。しかしながらいずれもチケットは完売し、来場者にも好評であった。
- ・日 時 2016年4月22日、2017年3月10日
- ・場 所 エルシヤンテ追浜5階ホール、関東学院八景キャンパス5号館101ホール
- ・従事者人員 当法人役員、会員等10人程度
- ・受益対象者 追浜地域住民等

・支出額 530,938円

イ 私のこみせ

- ・内容 月1回の出店者の会議（こみせオーナー会議）を開き、「私のこみせ」PRと売上げ増を図るため、ワゴンセール等の企画支援を行った。本年度は、4月15日（金）、16日（土）に春のワゴンセール、10月17日（月）、18日（火）に秋のワゴンセールを実施し、いずれもセールだけでなく、店舗内の商品の売上げもプラスとなった。2017年1月より土曜日も定休日となったこと、申込みや棚代支払、売上げの送金等商盛會事務局を通すようにこみせのシステムが変わったことで退店が増えたが、新たな出店等を促すことも含め、「私のこみせ」ホームページを作成した。
- ・日時 2016年4月～2017年3月
- ・場所 こみゆに亭カフェ
- ・従事者人員 当法人役員、会員等 2、3名
- ・受益対象者 追浜地域住民等
- ・支出見込額 0円

ウ こみゆに亭カフェ等を活用したイベントの実施

- ・内容 第二回目のおいしいお茶の飲み方を開催予定で日程を調整したが都合がつかず、開催依頼していた野菜ソムリエ中川氏も多忙で予定が取れなかった。また2017年1月よりこみゆに亭カフェも休日が増えたためカフェ利用者が多くなり日程調整が難しくなった。次年度は開催内容を検討する必要がある。
- ・日時 2016年4月～2017年3月
- ・場所 こみゆに亭カフェ等
- ・従事者人員 当法人役員、学生会員等 5、6名
- ・受益対象者 追浜地域住民、地域大学生等
- ・支出見込額 0円

④ まちづくりの人材育成に関する事業

ア 学生のまちづくり活動支援

- ・内容 関東学院大学との連携では、「空き家プロジェクト」の学生が地域で活動する際の地元自治会町内会とのつながりを続けている。本年度は、新たに同大国際センターの要請による留学生の「おっぱま祭り」参加を、地元町内会（追浜本町1丁目町会）に依頼した。また、文学部比較社会論受講生の追浜まち歩き（「絵地図 おっぱま再発見！」による）の協力を行った。個別の支援として、ものづくり大学（埼玉県）4年生（追浜在住）より、インターネットで知り NPO 法人アクションおっぱまの取り組みを卒業論文にしたいとのことで問い合わせがあった。事務所パンフレット等で説明、第三海堡見学、はっけん倶楽部の街歩き、こみゆに亭カフェ見学へ同行し説明をした。その後は電話で対応したが地域交流や街づくりに関心が高まったとの感想があり、一度お礼に訪問するとのことで、無事論文を終えた。
- ・日時 2016年4月～2017年3月
- ・場所 追浜地域
- ・従事者人員 当法人役員、会員など10名
- ・受益対象者 関東学院大学等学生
- ・支出額 0円

イ 各種団体との交流と人材育成の実施

- ・内 容 追浜地域の団体では、（協）追浜商盛会、追浜地区社会福祉協議会、追浜工業会等の団体と地域住民あるいは大学とをつなげる活動をして来た。今後はさらにこうした団体と地域課題の解決にむけての活動を実現する中で、地域に関心を持つ多世代の人材を育成するプログラムを検討する。また、追浜地域以外、市域を越えたところでも共通する課題に取り組む団体との連携をはかる。
本年度は、11月30日に鎌倉市自治会町内会総連合会の視察があり、空き家プロジェクトが主たる目的であったが、こみゆに亭カフェ、ワイナリーも見学し、意見交換を行った。2月24日には、第2回地域包括ケア会議（主宰・追浜地域包括支援センター）に参加し、地域での居場所づくりや地域で活動するさまざまな団体の連携のあり方など意見交換を行い、今後も継続して参加することとなった。
- ・日 時 2016年4月～2017年3月
- ・場 所 こみゆに亭カフェ、当法人事務所など
- ・従事者人員 当法人役員、会員など延べ10名
- ・受益対象者 横須賀市内外のNPO法人、追浜地域の各種団体（工業会、地区社協、商店会）
- ・支 出 額 0円

以下の事業は、NPO 法人アクションおっぱまが（協）追浜商盛会と協力して行う。

⑤ 酒類の醸造及び販売事業

ア 横須賀おっぱまワインの醸造・販売及びおっぱまワインケーキの販売協力

- ・内 容 赤ワイン、白ワインの仕込み、瓶詰め、ラベル貼りなど醸造協力を今期は3回行った。また、おっぱまワイン寄席、パークハウス追浜・ハロウィンイベント、アイクルフェアなどで赤白ワインおよびワインケーキの販売協力を行った。
- ・日 時 2016年4月～2017年3月
- ・場 所 こみゆに亭カフェまたはエルシャンテ追浜
- ・従事者人員 当法人役員、会員など延約60名
- ・受益対象者 追浜地域住民
- ・支出見込額 0円

⑥ 地域の特産品の製造及び販売事業

ア 地域の特産品の企画・制作

- ・内 容 「平成28年度横須賀市NPO法人補助金」を得たことで、法人役員を中心に各方面より人材を選択し「お土産部会」を組織して2回会議を開催した。結果として、追浜雷神社に因んだ物産に意見が集約され「雷まちおこし」（仮称）と命名しおこし（菓子）の試作に取り掛かることになった。部会員有志が浅草常盤堂おこし作り体験へ参加、さらに行政センター4階調理室を借りて試作品を作った。一般会員、その他地域の方を含めた試食会で、「おこし」は概ね好評で、実現に向けての様々な意見を得ることができた。
- ・日 時 2016年4月～2017年3月
- ・場 所 追浜地域内
- ・従事者人員 当法人役員、会員、追浜地区住民、関東学院大学学生等約10名
- ・受益対象者 追浜地域住民

・支出額 118,329円

広報等に関する事業

ア NPO 法人アクションおっばまの会報「あんず通信」の編集・発行を継続した。
多方面から執筆者を得て、紙面にも工夫したことで好評を得ている。

- ・発行回数と発行予定：年間2回発行を行った。
- ・ページ数と発行部数：4ページ（A4版）、150部
- ・支出額 31,623円（印刷費、郵送料）

イ 各種冊子の販売

『東京湾第三海堡物語』『貝山地下壕見学のしおり』『追浜トンネル物語』『絵地図 おっばま再発見』といった各種冊子の販売を行う。なお、おっばまワイン寄席の際に上記の冊子や地図をセットにし500円で販売したところ、大変好評であったので、今後こうした販売方法を実施し、普及に努める。

- ・支出額 0円

ウ 地域情報誌の発行

学生を中心として編集部会を立ち上げ、新たな発想で費用、内容、作業を具体的に検討していくという計画を立てたが実行できなかった。

- ・支出額 0円

以上